

建築工事施工結果報告書(中間・完了)

下記のとおり建築工事施工結果を報告します。
この報告書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

年 月 日

町田市建築主事 様

代表となる工事監理者 住所 電話 ()
会社名 ()級建築士事務所()登録第()号
氏名 ()級 建 築 士()登録第()号

工事施工者 住所 電話 ()
会社名 建設業の許可 大臣・知事 第()号
氏名

(法人にあつては、その事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

品質窓口責任者氏名 電話 ()

下記の建築工事施工結果については、工事監理者より報告を受けました。

建築主 住所 電話 ()
会社名
氏名

(法人にあつては、その事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

記

(1) 建築工事施工計画報告書受付年月日及び番号		年 月 日		第 号	
(2) 工事現場	名称	工区棟		工事の種類	新築・増築・改築
	所在地				
(3) 構造設計者	氏名	所属会社		電話 ()	
(4) 現場代理人(所長)	氏名	現場事務所		電話 ()	
(5) 階数	地上 階・地下 階 塔屋 階	(6) 建築面積	m ²	(7) 延べ面積	m ²
(8) 構造	木造・S造・RC造・WRC造・SRC造・混構造(造+ 造)・その他()				
(9) 高さ	軒高 m 最高 m	(10) 確認済証交付機関			
(11) 確認・計画通知、年月日及び番号		年 月 日		第 号	
(12) 計画変更年月日及び番号		年 月 日		第 号	
(13) 構造計算の方法		(X) ルート()、(Y) ルート()、その他()			
(14) 計画変更以降の軽微な変更(構造関係規定)					※ 受付欄

(注意) ※印のある欄は、記入しないでください。

工 事 監 理 状 況 報 告 書	
工事監理者	資格番号： 級建築士 第 号 氏名：
工事監理組織（各担当分野 及び 担当者名）	
工事監理に関する重点項目	
検査等における工事監理者からの主な指示・指摘事項 及び それらの対応方法	
監理者総合所見	

鉄筋工事施工結果報告書

鉄筋継手の試験・検査結果報告

平12建告第1463号(令第73条第2項) 関係

NO.	鉄筋継手の部位	工法名	継手の 施工業者名	鉄筋の 種別	鉄筋の径	試験・ 検査方法	試験・検査機関名 (登録番号)	試験・検査 期間	不適格 箇所 ^{注3}	合否 判定
	地中梁、階柱～階梁 その他()			SD ～SD	D ～D			R. . ～R. .	有・無	合・否
	地中梁、階柱～階梁 その他()			SD ～SD	D ～D			R. . ～R. .	有・無	合・否
	地中梁、階柱～階梁 その他()			SD ～SD	D ～D			R. . ～R. .	有・無	合・否
	地中梁、階柱～階梁 その他()			SD ～SD	D ～D			R. . ～R. .	有・無	合・否
	地中梁、階柱～階梁 その他()			SD ～SD	D ～D			R. . ～R. .	有・無	合・否
	地中梁、階柱～階梁 その他()			SD ～SD	D ～D			R. . ～R. .	有・無	合・否

《不適格箇所の詳細》(不適格と判断されたNO.、部位、内容、対応方法とその結果等を記入)

試験確認欄 (合計)	継手箇所数(箇所)		試験回数(回)		うち防災センター ^{*3} 試験回数(回/%)		超音波探傷・測定検査 (箇所/ロット又は%)	
	計画	実施	計画	実施	計画	実施	計画	実施
					/	/	/	/

- (注意) 1 試験・検査機関で行った結果を対象として記入すること。
 2 鉄筋継手の部位、工法(圧接継手、溶接継手、機械式継手)及び試験・検査方法ごとに記入すること。
 3 防災センターとは、(公財)東京都防災・建築まちづくりセンターのことをいう。

コンクリート工事施工結果報告書

コンクリートの試験結果報告

昭56建告第1102号(令第74条)、昭46建告第110号(令第76条) 関係

NO.	打込み箇所	打込み期間	Fc (N/mm ²)	Fq (N/mm ²)	供試体 養生方法	判定強度 ^{注4} (令第74条)	判定強度 ^{注5} (令第76条)	試験機関名 (登録番号)	試験期間	不適格 箇所 ^{注3}	合否 判定
	杭・耐圧盤・地中梁 階立上り～階床	R. . ～R. .							R. . ～R. .	有・無	合・否
	杭・耐圧盤・地中梁 階立上り～階床	R. . ～R. .							R. . ～R. .	有・無	合・否
	杭・耐圧盤・地中梁 階立上り～階床	R. . ～R. .							R. . ～R. .	有・無	合・否
	杭・耐圧盤・地中梁 階立上り～階床	R. . ～R. .							R. . ～R. .	有・無	合・否
	杭・耐圧盤・地中梁 階立上り～階床	R. . ～R. .							R. . ～R. .	有・無	合・否
	杭・耐圧盤・地中梁 階立上り～階床	R. . ～R. .							R. . ～R. .	有・無	合・否

《不適格箇所の詳細》(不適格と判断されたNO.、部位、内容、対応方法とその結果等を記入)

試験確認欄 (合計)	打込容積(m ³)		試験回数(回)		うち防災センター ^{*3} 試験回数(回/%)	
	計画	実施	計画	実施	計画	実施
					/	/

- (注意) 1 試験機関で行った結果を対象として記入すること。
 2 打込み箇所ごとに、試験結果の合否判定を記入すること。
 3 防災センターとは、(公財)東京都防災・建築まちづくりセンターのことをいう。

基礎・鉄筋コンクリート造部分等の確認項目

確認項目		確認内容 欄中の※は法令規定事項である重要確認項目を示す。		工事施工者	工事監理者
				確認方法 ^注	確認方法 ^注
①全体	共通	※ 令3章8節	a) 柱、はり、壁、スラブの位置の確認		
		※ 令79	b) かぶり厚さの確保		
		※ 法37	c) 鉄筋の材質(JIS規格)の確認		
		※ 法37	d) コンクリートの材質(JIS規格)の確認		
②地盤・基礎	支持地盤 (試験ぐい(試)と本ぐい(本)それぞれについて、記載する。)	※ 令38 令93 告1113	a) 支持地盤の位置、種類、地耐力等の確認		
			b) ぐいの支持地盤の位置、種類の確認(載荷試験を含む)	試本	試本
	ぐい、地盤改良等の種類、配筋等(試験ぐい(試)と本ぐい(本)それぞれについて、記載する。)	※ 令38 令73 告1347 告1113	c) 場所打ちぐいの材料、工法、長さ、径、位置、ぐい頭処理、継手、主筋径・数、かぶり、偏心による補強等の確認	試本	試本
			d) PCぐいの材料、工法、長さ、径、位置、ぐい頭処理、継手、偏心による補強等の確認	試本	試本
			e) 鋼管ぐいの材料、工法、長さ、径、位置、ぐい頭処理、継手、偏心による補強等の確認	試本	試本
			f) 連続地中壁の材料、工法、長さ、径、位置、接合、補強鋼材、偏心による補強等の確認		
			g) 評価工法等のぐいの材料、工法、長さ、径、位置、ぐい頭処理、継手、主筋径・数、かぶり、偏心による補強等の確認	試本	試本
			h) ぐい施工中の水の状況	試本	試本
			i) 偏心の状況(施工誤差許容値内、補強の要否、変更手続否・要・済)		
			j) 地盤改良の材料、工法、径、長さ、位置、耐力等の確認		
			k) 地盤アンカーの方向、材料、工法、耐力等の確認		
			l) フーチングの種類、部材寸法、主筋の径、本数、位置、ピッチ、定着等の確認(参考：配筋指針「基礎」等)		
	基礎の種類、配筋	※ 令38 令73 告1347	m) べた基礎の種類、部材寸法、主筋の径、本数、位置、ピッチ、定着等の確認(参考：配筋指針「基礎」等)		
			n) 連続基礎の種類、部材寸法、主筋の径、本数、位置、ピッチ、定着等の確認(参考：配筋指針「基礎」等)		
o) 独立基礎の種類、部材寸法、主筋の径、本数、位置、ピッチ、定着等の確認(参考：配筋指針「基礎」等)					
地中ばり	※ 令38 令73 令78 告1347	p) 地中ばりの断面寸法、主筋径、本数、位置、定着方法、継手(位置、長さ)、あばら筋の位置、径、間隔、形状、偏心による補強、貫通孔の位置及び補強(評定品の仕様確認)等の確認(参考：配筋指針「基礎」等)			
マスコンクリート	※ 令74 令75	q) 打設計画、コンクリートの温度、気温、養生、コンクリートの状態の確認、補修等(参考：JASS5「鉄筋間隔・あきの最小寸法」等)			
③柱	一般階主筋	※ 令77	a) 柱寸法、主筋の径、本数、配置(方向)、偏心による補強等の確認(参考：配筋指針「基礎ばり」等)		
		※ 令77	b) 2段筋の位置(間隔)の確認(参考：JASS5「鉄筋間隔・あきの最小寸法」等)		
	最上階主筋	※ 令73	c) 柱頭鉄筋の止まり高さ、主筋の出隅のフックの確認、最上階の主筋のはりに対する定着確認(参考：配筋指針「柱頭(最上階)の配筋」等)		
	最下階主筋	※ 令73	d) 最下階の主筋の基礎に対する定着確認(参考：配筋指針「柱脚(最下階)の配筋」等)		
	定着・継手	※ 令73	e) 主筋の継手位置及び長さの確認(参考：JASS5「柱筋の継手の位置及び定着」等) f) 柱筋出隅部の鉄筋端部のフック確認		
		※ 令3章8節	g) 打増しの大きさによる配筋補強確認(参考：配筋指針「柱・梁の打増しコンクリート補強筋」等)		
	帯筋	※ 令77	h) 鉄筋径、間隔、本数(副帯筋共)及び形状の確認(参考：配筋指針「帯筋、副帯筋の一般形状」等)		

		※	令77	i) 主筋絞り部、折曲げ部の帯筋補強の確認(参考:配筋指針「主筋の絞り位置と絞り方」等)		
		※	令77	j) 仕口部分の帯筋の配置確認(参考:配筋指針「帯筋の配筋間隔について」等)		
		※	令77	k) 第1帯筋と柱頭の拘束帯筋の位置確認(参考:配筋指針「帯筋の配筋間隔について」等)		
		※	令73 令77	l) 帯筋のフック又は溶接の形状、結束の確認(参考:配筋指針「帯筋の一般形状」等)		
④ はり	はり主筋	※	令78	a) はり断面寸法、はり主筋の径、本数及び位置の確認		
		※	令78	b) 中吊り筋の間隔の確保、長さ確認(参考:JASS5「鉄筋の間隔・あきの最小寸法」及び配筋指針「はり端部・中央部の配筋」等)		
	定着・継手	※	令73 令78	c) はり筋の定着長さ、位置確認(参考:JASS5「はり筋の定着」、RC規準「仕口への定着」等)		
		※	令73 令78	d) 重ね継手の位置と長さ確認(参考:JASS5「梁筋の継手の位置」「鉄筋の重ね継手の長さ」等)		
		※	令73 令78	e) はり筋出隅部の鉄筋端部のフック確認		
	打増し、貫通孔補強	※	令3章8節	f) 打増しの補強方法が適切か、貫通孔の位置及び補強の確認(評定品の仕様確認)(参考:配筋指針「柱・梁の打増しコンクリート補強筋」「はりの貫通孔補強」等)		
	あばら筋	※	令78	g) あばら筋の径、本数(副あばら筋共)とピッチの確認		
		※	令78	h) あばら筋のフック形状、結束の確認(参考:配筋指針「あばら筋の形状」等)		
	片持ちばり	※	令73 令78	i) 片持ちばり主筋の定着、あばら筋位置確認(参考:配筋指針「片持ちばりの配筋」等)		
	小ばり	※	令73 令78	j) 小ばり配筋の位置と定着確認(参考:配筋指針「小ばりの端部・中央部の配筋」「定着」等)		
⑤ スラブ	スラブ筋	※	令77の2	a) スラブ厚さの支持条件、寸法、鉄筋のピッチと径の確認		
		※	令77の2	b) 主筋配置(短辺・長辺とベント配筋)の確認(参考:配筋指針「床スラブ」等)		
	定着、重ね継手	※	令73 令77の2	c) 定着と長さ方法(はり定着、隣接スラブ、段差スラブ定着)		
		※	令73 令77の2	d) 片持スラブの定着と上端筋位置確保(先端壁有無)(参考:配筋指針「片持スラブ」等)		
		※	令73 令77の2	e) 継手の位置と長さ(参考:配筋指針「床スラブ継手位置」等)		
	補強筋等			f) 床スラブの出入隅部の補強(参考:配筋指針「床スラブに関するその他の事項」等)		
		※	令3章8節	g) 開口部補強配筋確認(参考:RC規準等)		
※	令3章8節	h) 階段部配筋と補強筋確認(参考:配筋指針「階段」等)				
⑥ 壁	壁筋	※	令78の2	a) 壁厚、鉄筋の経、ピッチ、位置(土圧壁主筋・階段受け筋)の確認		
	定着・重ね継手	※	令73 令78の2	b) 定着確認(はり、柱、スラブ、壁定着)(参考:JASS5及び配筋指針「壁筋の定着」等)		
		※	令73 令78の2	c) 重ね継手の位置と長さの確認(参考:JASS5及び配筋指針「壁筋の継手の位置」等)		
	補強筋等	※	令78の2	d) 開口補強配筋確認(参考:配筋指針「壁開口補強」等)		
※		令3章8節	e) スリット(完全、部分)の位置、形状及び配筋確認(参考:構造規定「スリットの配置及び詳細」等)			
⑦ その他	設備配管等			a) 設備配管(CD管等)の配置確認		
	ガス圧接継手	※	令73 告1463	b) 圧接部の長さ及び膨らみの直径、圧接面のずれ、鉄筋中心軸の偏心量の確認		
		※	令73	c) 圧接部の検査(引張試験、超音波探傷試験等)の検査箇所、検査率、合格率等の確認(参考:JASS5「ガス圧接継手」等)		
	特殊鉄筋継手			d) 認定、評定工法の仕様及び継手性能の確認		
		※	告1463	e) 認定、評定品以外の場合のモルタル、グラウト材又はトルク確認		
	型枠及び既存打設部分状況確認	※	令37 令79	f) 型枠及び支柱の締付け、清掃状況確認(参考:JASS5「型枠の検査」等)		
		※	令37 令79 告1372	g) ジャンカ処理、型枠等木片撤去補修確認(参考:JASS5「不具合とその修理方法の例」等)		

	※	令3章8節	h) 基礎、柱、はり、床板、壁の躯体寸法の確認		
	※	令76	i) 型枠支柱存置期間の確認		
	※	令75 令76	j) コンクリート打設後の養生(参考：JASS5「養生」等)		
	※	令72 令74	k) コンクリートの調合及び圧縮強度の確認(参考：JASS5「養生」等)		
EXP. Jの確認	※	令36の4	1) 位置及び間隔の確認		
PCaの品質・強度確認等	※	令3章6節	m) コンクリートの調合及び圧縮強度の確認(参考：JASS5等) n) 鉄筋の配筋確認 o) かぶり厚さ等の確認(告示1372号) p) 寸法精度の確認 q) 接合及び緊結の確認等 r) 製品検査結果(寸法精度、打ち込み欠陥等) s) 建方後の部材についての構造上支障のあるひび割れ等の欠陥の有無		
プレストレストコンクリートの定着及び材料等の確認	※	令80の2等	t) プレストレストコンクリートの定着方法の確認、圧着面のモルタル強度等(告示1320号) u) プレストレストコンクリートの緊張材料強度の確認(告示1320号) v) プレストレスト導入時のPC強度の確認 w) プレストレスト導入張力の確認		
屋根ふき材等の緊結の確認	※	令39 告109 告771	x) 屋根ふき材、外装材及び屋外に面する帳壁の構造方法の確認 y) 特定天井の構造方法の確認 z) 特定天井の腐食、腐朽、劣化等に関する確認(有効なさび止め、防腐その他の劣化防止のための措置等)		
建築設備の構造強度の確認	※	令129の2の3 告1388 告1389	aa) 昇降機の構造方法 ab) 昇降機以外の建築設備の構造方法 ac) 屋上水槽等(法第20条第1項第1号～第3号に掲げる建築物に設けるものに限る。)		

(注意) 確認方法

A：工事現場で目視又は計測機器により直接確認したもの

B：報告書により確認したもの

C：工場等で検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの

D：第三者機関等が検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの

E：工事監理者(構造担当：会社名 氏名)が直接確認したもの

工事監理者及び工事施工者が、AからEまでの確認方法を参考に記入する。また、配筋工事等の重要項目については、工事監理組織欄に構造担当者が記載されている場合で、その構造担当者が直接確認したものについては「+E」(記入例 A+E、B+E、B+C+E)と記入する。

(日本産業規格A列4番)

E-4-2

木 工 事 施 工 結 果 報 告 書

使用材料 (木材)

部位	樹種	材料	区分/等級	変更の有無	適・否
土台		目視等級区分構造用製材 機械等級区分構造用製材 ()構成集成材	甲種・乙種 / 1級・2級・3級 E() E() - F()	有・無	適・否
柱① ()		目視等級区分構造用製材 機械等級区分構造用製材 化粧ばり構造用集成柱 ()構成集成材	甲種・乙種 / 1級・2級・3級 E() E() - F()	有・無	適・否
柱② ()		目視等級区分構造用製材 機械等級区分構造用製材 化粧ばり構造用集成柱 ()構成集成材	甲種・乙種 / 1級・2級・3級 E() E() - F()	有・無	適・否
柱③ ()		目視等級区分構造用製材 機械等級区分構造用製材 化粧ばり構造用集成柱 ()構成集成材	甲種・乙種 / 1級・2級・3級 E() E() - F()	有・無	適・否
横架材① ()		目視等級区分構造用製材 機械等級区分構造用製材 ()構成集成材	甲種・乙種 / 1級・2級・3級 E() E() - F()	有・無	適・否
横架材② ()		目視等級区分構造用製材 機械等級区分構造用製材 ()構成集成材	甲種・乙種 / 1級・2級・3級 E() E() - F()	有・無	適・否
横架材③ ()		目視等級区分構造用製材 機械等級区分構造用製材 ()構成集成材	甲種・乙種 / 1級・2級・3級 E() E() - F()	有・無	適・否
その他① ()		目視等級区分構造用製材 機械等級区分構造用製材 ()構成集成材	甲種・乙種 / 1級・2級・3級 E() E() - F()	有・無	適・否
その他② ()		目視等級区分構造用製材 機械等級区分構造用製材 ()構成集成材	甲種・乙種 / 1級・2級・3級 E() E() - F()	有・無	適・否
その他③ ()		目視等級区分構造用製材 機械等級区分構造用製材 ()構成集成材	甲種・乙種 / 1級・2級・3級 E() E() - F()	有・無	適・否
面材① ()		()合板 A種・B種 構造用単板積層材	1級・2級 / 特類・1類・2類 ()E / 特級・1級・2級 ()V - ()H / ()B	有・無	適・否
面材② ()		()合板 A種・B種 構造用単板積層材	1級・2級 / 特類・1類・2類 ()E / 特級・1級・2級 ()V - ()H / ()B	有・無	適・否
使用材料に関する所見					

※「材料」の目視等級区分製材、機械等級区分製材、化粧ばり構造用集成柱は該当するものを○で囲む。
 ※「材料」の構成集成材の()内には、「同一等級」、「対称異等級」、「特定対称異等級」、「非対称異等級」等の区分を記入する。
 ※「材料」の合板の()内には、「普通」、「コンクリート型枠用」、「構造用」、「化粧ばり構造用」、「天然木化粧」、「特殊加工化粧」等の種類を記入する。
 ※「区分/等級」は、該当するものを○で囲み、()内には強度等級等を記入する。

部位	樹種	材料	区分/等級	寸法型式	変更の有無	適・否
		枠組壁工法構造用製材 枠組壁工法構造用たて継ぎ材 MSR枠組材・MSRたて継ぎ材 ()構成集成材	甲種 / 特級・1級・2級・3級 乙種 / コンストラクション・スタンダード・ユーティリティ たて枠用たて継ぎ材 MSR等級 / ()Fb - ()E E() - F()		有・無	適・否
		枠組壁工法構造用製材 枠組壁工法構造用たて継ぎ材 MSR枠組材・MSRたて継ぎ材 ()構成集成材	甲種 / 特級・1級・2級・3級 乙種 / コンストラクション・スタンダード・ユーティリティ たて枠用たて継ぎ材 MSR等級 / ()Fb - ()E E() - F()		有・無	適・否
		枠組壁工法構造用製材 枠組壁工法構造用たて継ぎ材 MSR枠組材・MSRたて継ぎ材 ()構成集成材	甲種 / 特級・1級・2級・3級 乙種 / コンストラクション・スタンダード・ユーティリティ たて枠用たて継ぎ材 MSR等級 / ()Fb - ()E E() - F()		有・無	適・否
		枠組壁工法構造用製材 枠組壁工法構造用たて継ぎ材 MSR枠組材・MSRたて継ぎ材 ()構成集成材	甲種 / 特級・1級・2級・3級 乙種 / コンストラクション・スタンダード・ユーティリティ たて枠用たて継ぎ材 MSR等級 / ()Fb - ()E E() - F()		有・無	適・否
		枠組壁工法構造用製材 枠組壁工法構造用たて継ぎ材 MSR枠組材・MSRたて継ぎ材 ()構成集成材	甲種 / 特級・1級・2級・3級 乙種 / コンストラクション・スタンダード・ユーティリティ たて枠用たて継ぎ材 MSR等級 / ()Fb - ()E E() - F()		有・無	適・否
面材		()合板 A種・B種 構造用単板積層材	1級・2級 / 特類・1類・2類 ()E / 特級・1級・2級 ()V - ()H / ()B		有・無	適・否
使用材料に関する所見						

※「樹種」には、①DFir-L、②Hem-Tam、③Hem-Fir、④SPF/Spruce-Pine-Fir、⑤W Cedar、⑥SYP、⑦JS I、⑧JS II、⑨JS IIIの別を番号で記入する。
 ※「材料」の目視等級区分製材、機械等級区分製材は該当するものを○で囲む。
 ※「区分/等級」は、該当するものを○で囲み、()内にはMSR級を記入する。
 ※「寸法型式」には、104、106、203、204、205、206、208、210、212、304、306、404、405、406、408の別を記入する。

(注意) 1 「変更の有無」は、確認図書からの変更の有無を記入し、「あり」の場合は、使用材料に関する所見欄にその内容のほか法適合の状況や見解を記入し所定の手続きを行う。
 2 丸太組構法、CLTパネル工法の場合は、主要木材一覧を別途作成する。

使用材料 (金物)

接合金物の種類と規格	Zマーク金物名又は認定番号	規格・製品名	部位	Zマーク金物名又は認定番号	規格・製品名	部位
	ホールダウン金物		柱・梁・その他	かすがい		柱・梁・その他
	柱脚金物		柱・梁・その他	手違いかすがい		柱・梁・その他
	短ざく金物		柱・梁・その他	筋かいプレート		柱・梁・その他
	ひら金物		柱・梁・その他			
	かね折り金物		柱・梁・その他			
	ひねり金物		柱・梁・その他			
	折曲げ金物		柱・梁・その他			
	くら金物		柱・梁・その他			
	かど金物		柱・梁・その他			
	山形プレート		柱・梁・その他	確認図書からの変更の有無		
	羽子板ボルト		柱・梁・その他			
	羽子板パイプ		柱・梁・その他			
	火打金物		柱・梁・その他			
	アンカーボルト		柱・梁・その他			

木造確認項目報告

確認項目	確認内容	工事施工者	工事監理者
		確認方法	確認方法
1 全体・共通事項	法37 a) 木材の材質 (JAS規格等) の確認		
	法37, 令42 b) 鋼材 (アンカーボルト等) の材質、形状、寸法、配置、定着、緊結状況の確認		
	令49 c) 防腐及び防蟻措置の確認		
	令3章8節 d) 柱、横架材、筋かい、土台等の位置の確認		
	令3章8節 e) 木材の樹種、区分、等級、形状、寸法の確認		
	令3章8節 f) 金物の種類、規格、品質、形状、寸法、緊結方法・緊結状況の確認		
	令3章8節 g) 釘の種類、長さの確認		
2 在来工法・木造大断面	令41 a) 構造耐力上主要な部分の木材の、節、腐れ、繊維の傾斜、丸身等の確認		
	令42, 28告690 b) 土台と基礎の緊結方法 (ホールダウン金物の品質、形状、寸法、位置) の確認 土台を設けない場合は、柱と基礎の緊結方法、足固め、だば継ぎの確認		
	令43 c) 柱の欠込み部及び通し柱に代わる管柱の補強の確認		
	令44 d) 横架材に構造耐力上支障のある欠込みの無いことの確認		
	令45 e) 筋かい等の欠込み部の補強の確認		
	令46, 28告691 f) 火打ち材の設置状況、剛床の確認		
	令46 g) 小屋組の形状、寸法、緊結方法の確認		
	令46 h) 小屋組の火打ち材、振れ止めの設置状況等の確認		
	令46, 28告691 i) 床根太、床梁、胴差との取り合い及び床下地の取り付けの確認		
	令46, 56告1100 j) 構造用合板の緊結に使用するくぎの種類、ピッチ等の確認		
	令47, 12告1460 k) 柱 (通し柱、管柱) と横架材 (梁、桁) の緊結方法 (Zマーク表示金物等の仕様) の確認		
	令47, 12告1460 l) 筋かいの緊結方法 (Zマーク表示金物等の仕様) の確認		
	令47, 12告1460 m) 柱 (通し柱、管柱) と土台との緊結方法 (Zマーク表示金物等の仕様) の確認		
令3章8節 n) 柱 (通し柱、管柱)、間柱、横架材 (梁、桁)、土台、筋かい、耐力壁 (構造用合板)、床下地、屋根地材の種類、品質、形状、寸法、位置の確認			
3 枠組壁工法	平成13年告示第1540号, 第1541号 a) 構造耐力上必要な部分に使用する枠組材の品質、寸法及び配置の確認		
	b) 構造耐力上必要な部分に使用する床材、壁材及び屋根下地材の品質及び寸法の確認		
	c) 構造耐力上必要な部分に使用する釘及びネジの品質及び寸法の確認		
	d) 土台、床根太、端根太及び側根太の品質、寸法及び配置の確認		
	e) 床の各部材相互及び床の枠組と土台又は頭つなぎとの緊結の確認		
	f) 壁の各部材相互及び壁と床、頭つなぎ又はまぐさ受けとの緊結の確認		
	g) 小屋組各部材相互及び小屋組の部材と頭つなぎ又は屋根下地との緊結の確認		
4 混構造	a) 木造部分と木造以外 () 造部分の間の取り付けの確認 (取付方法:)		

(注意) 確認方法 A: 工事現場で目視又は検査機器により確認したもの
 B: 報告により確認したもの
 C: 工場等で検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの
 D: 第三者機関等が検査機器を用いて計測試験し、その結果を工事監理者又は工事施工者が確認したもの
 E: 工事監理者 (構造担当:) 氏名 () が直接確認したもの
 工事監理者及び工事施工者がAからEまでの確認方法を参考に記入する。また、配筋工事等の重要項目については、工事監理組織図に記載されている構造担当者が直接確認したものは、「+E」(記入例 A+E、B+E、C+E) と記入する。